

令和元年度

福島町議会定例会 5月会議

令和元年5月31日（金）

諸般の報告  
(第1号)

福島町議会

## 提出された案件

### 1 町長提出

- 議案第1号 福島町半島振興地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について  
議案第2号 福島町グラスポート管理条例の制定について  
議案第3号 町税条例の一部改正について  
議案第3号 福島町国民健康保険税条例の一部改正について  
議案第4号 福島町介護保険条例の一部改正について  
議案第5号 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等に基づく関係条例の整理について  
議案第6号 令和元年度福島町一般会計補正予算（第1号）  
報告第1号 専決処分した事件の報告について

### 町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

町長	鳴海清春	副町長	高木壽
総務課長	工藤泰	総務課参事	小鹿一彦
企画課長	住吉英之	産業課長	川合力哉
税務課長兼会計管理者	西田啓晃	福祉課長	鍋谷浩行
教育長	前田勝広	事務局長兼給食センター所長	石岡大志
監査委員	本庄屋誠		

### 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	阿部憲一	係長	福井理央
主査	中島和俊	書記	平野文子

### 監査報告

- 4月11日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。（水道事業会計）  
4月12日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。  
〔一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、浄化槽整備特別会計、国民健康保険診療所特別会計〕  
5月14日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。（水道事業会計）  
5月17日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。  
〔一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、浄化槽整備特別会計、国民健康保険診療所特別会計〕

## 委員会の調査報告

- 5月20日 経済福祉常任委員会から所管事務調査結果の報告があった。  
5月23日 総務教育常任委員会から所管事務調査結果の報告があった。

## 議会に関連した諸行事（平成30年度福島町議会定例会3月会議後 本日まで）

- 3月15日 福島中学校卒業式（議長ほか）  
〃 議会運営委員会3月定例会反省事項手交（議長ほか）  
18日 福島小学校卒業式（副議長ほか）  
〃 吉岡小学校卒業式（議長ほか）  
20日 学校法人福島キリスト教学園福島幼稚園第64回卒園式（議長）  
27日 認定こども園福島保育所卒園式（議長ほか）  
28日 福島町椎茸生産組合定期総会（議長）  
〃 するめいか輸入関税に関する報告会（議長）  
29日 福島吉岡漁業協同組合通常総会（議長）
- 4月5日 認定こども園福島保育  
所入園式（議長ほか）  
8日 福島小学校入学式（議長ほか）  
〃 福島中学校入学式（議長ほか）  
〃 北海道福島商業高等学校入学式（議長ほか）  
10日 学校法人福島キリスト教学園福島幼稚園入園式（議長ほか）  
12日 福島町観光協会通常総会（議長ほか）  
17日 福島町森づくり協議会総会（関係議員）  
19日 福島町商工会青年部通常総会（議長ほか）  
21日 第19回北海道福島会（東京都、議長）  
25日 議会運営委員会  
（平成30年度議会評価・議員評価、平成31年度議員目標ほか）  
〃 福島町相撲協会総会（議長ほか）  
27日 第72回松前さくらまつり開会式（松前町、議長）
- 5月8日 渡島総合開発期成会役員会（函館市、議長）  
12日 第28回北海道女だけの相撲大会（議長ほか）  
13日 議会基本条例諮問会議第1回会議（議長ほか）  
〃 春の交通安全大会・祈願祭（議長ほか）  
14日 経済福祉常任委員会  
（前浜の天然資源の状況、岩部海岸クルーズ事業計画）  
15日 福島町老人クラブ連合会総会（議長）  
16日 第59回福島町商工会通常総会（議長ほか）  
18日 岩部地区交流センター開設に係るオープンセレモニー及び岩部クルーズ  
安全祈願祭（議長ほか）

- 19日 第6回わんぱく相撲函館場所福島大会（議長ほか）
- 〃 福島中学校体育大会（議長ほか）
- 20日 総務教育常任委員会  
（デマンドバスの運行状況、町の広報活動の実態）
- 21日 議会運営委員会（議会だより第122号編集）
- 23日 一般社団法人まちづくり工房社員総会（議長ほか）
- 24日 渡島西部四町議会議員連絡協議会第1回理事会  
（知内町、議長ほか）
- 25日 町民森づくり植樹祭（関係議員）
- 26日 吉岡小学校・町民合同運動会（議長ほか）
- 27日 渡島廃棄物処理広域連合議会第1回臨時会（北斗市、関係議員）
- 27日～29日 町村議会議長・副議長研修会（東京都、副議長）
- 28日 渡島総合開発期成会（函館市、議長）
- 30日 福島町交通安全運動推進協会総会（議長）
- 〃 原水爆禁止国民平和大行進（議長）
- 31日 定例会5月会議

## 常 任 委 員 会 報 告

平成31年3月8日、平成30年度福島町議会定例会3月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えた常任委員会から、別紙のとおり所管事務調査報告書の提出があったので、これを報告する。

令和元年5月31日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

### 記

- 総務教育常任委員会
- 経済福祉常任委員会

福 議 委 号  
令和元年5月23日

福島町議会議長 溝部 幸基  
様

総務教育常任委員会  
委員長 川村 明雄

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、平成30年度福島町議会定例会3月会議（平成31年3月8日）において決定した休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により下記のとおり報告する。

記

調査事件	1 デマンドバスの運行状況について	2 町の広報活動の実態について
調査期間	令和元年5月20日（1日間）	
出席委員	委員長 川村 明雄 委員 佐藤 孝男 委員 溝部 幸基	副委員長 木村 隆 委員 平野 隆雄
欠席委員	なし	
委員外議員	なし	
出席説明員	町 長 鳴海 清春 副町長 高木 壽 企画課長 住吉 英之 企画課長補佐 村田 洋臣	町 長 鳴海 清春 副町長 高木 壽 総務課長 工藤 泰 総務課長補佐 福原 貴之 企画課長 住吉 英之 企画課長補佐 村田 洋臣
議会事務局職員	事務局長 阿部 憲一 主 査 中島 和俊	係 長 福井 理央

## [委員会意見]

### 調査事件 1 デマンドバスの運行状況について

(令和元年 5 月 20 日調査)

昨年 11 月 19 日開催の調査で、「デマンドバス利用の PR 方法の工夫や、他町と比較して利用料が高い等の意見が町民からあることから、料金決定の経緯や関係事業者等への影響調査、料金を下げた場合の路線バスとの関係等を整理するように」との委員会意見を町に提出しております。町から提出された関係資料に基づき調査を実施したので、調査結果を以下のとおり報告する。

#### 【論点とした調査項目・意見】

デマンドバスの利用料・運行区間を含む運行計画については、利用者や公共交通事業者、国・道・町などの関係機関で構成する地域公共交通確保維持改善協議会で議論・決定し、国庫補助対象路線の認定申請手続きを経て実施されることは理解したが、以下の点については検討が必要と思慮する。

#### 1 料金改定の検討について

利用料値下げについては、町医歯会(三師会)から要望書(公開質問状)が提出され、「町民と議員の懇談会」等での意見もあることから、町民の声や周辺自治体の状況を充分検討し、できるだけ早く具体案を示し、協議会の理解を得て国庫補助対象路線の認定申請につなげる努力を強く望む。

利用料については、現在の均一制による運賃形態を維持し、値下げを検討されることが望ましいと思慮する。

#### 2 国に対する地域事情の説明について

当初計画から運行区間については、函バスが運行する国道との関係性により千軒地区が除外されている現状にある。少子高齢化、高齢者の運転免許証返納等が進み、大きな社会変化が顕著となっていることを的確にとらえ、千軒地区住民がデマンドバスを利用することができるよう、国に対しデマンドバス未運行区間の解消を強く訴えられたい。

#### 3 将来の交通体系を見据えた検討について

デマンドバスに加え、現在町で運行している温泉バス・町立診療所バス・スクールバスを、町民の利便性確保と地元民間事業者の事業量確保、経費の削減を目的に、機能的に集約する、将来的な交通体系の一元的運行を検討されたい。

#### 4 総括意見

デマンドバスの目的は、町内循環型車両による町民の交通利便性の向上であり、今後とも地域の実情に沿った効果的な運行ができるよう議会としても関わっていく必要があると思慮することから、町においては、協議会の開催状況等について、適宜報告願いたい。

## [委員会意見]

### 調査事件 2 町の広報活動の実態について

(令和元年 5 月 20 日調査)

町民に対する行政情報は、町広報や各種チラシ、回覧の配布、防災行政無線等の活用により、きめ細やかに周知を図っているが、今年 1 月開催の議会広報広聴常任委員会総務部会による町内会連合会役員との懇談で、「配布内容の精査と必要性の検討と、防災行政無線活用等によりペーパーレス化を進めるべき」との意見が出された。

このような中で町から提出された関係資料に基づき調査を実施したので、調査結果を以下のとおり報告する。

#### 【論点とした調査項目・意見】

ペーパーレス化・連絡員の負担軽減については、説明のとおり「各戸配付の回覧への移行」「防災行政無線の活用による配布物の抑制」で対応することは妥当と評価する。

回覧の増については、滞って期日を過ぎてからの回覧とならないよう連絡員・町内会連合会等と協議・確認を行うことが必要である。

行事等の周知については、行事前日・当日等、防災行政無線活用を徹底されたい。

まちづくり基本条例に定める「町民との情報共有」推進のため、以下の点について検討が必要と思慮する。

#### 1 町ホームページの有効活用と情報の更新について

平成 27 年度導入の CMS は、従来の企画課一元の情報管理を、各課で迅速な情報発信と情報更新を目指したものであるが、現状は、CMS の利便性を活かさず、リアルタイムの情報に乏しく、更新が滞る状態であり、有効に活用されているとは言い難く、改めて、役割を周知徹底され、各課に対し積極的な情報の発信を促されたい。

行政における基本的な統計資料等の充実や他町村の良い例などを参考に、見やすいホームページの編集に努められたい。

#### 2 千軒地区防災無線の雑音対策について

防災行政無線設置後、現在に至るまで千軒地区一部施設で、雑音等により情報が聞き取りにくいとの声があることから、抜本的な雑音対策を検討されたい。



福 議 委 号  
令和元年5月20日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

経済福祉常任委員会  
委員長 熊野 茂夫

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、平成30年度福島町議会定例会3月会議（平成31年3月8日）において決定した休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	1 前浜の天然資源の状況について	2 岩部クルーズ事業計画について
調査期間	令和元年5月14日（1日間）	
出席委員	委員長 熊野 茂夫 委員 杉村 志朗 委員 平野 隆雄	副委員長 花田 勇 委員 平沼 昌平 委員 溝部 幸基
欠席委員	なし	
委員外議員	なし	
出席説明員	町 長 鳴海 清春 産業課長 川合 力哉	副町長 高木 壽
議会事務局職員	事務局長 阿部 憲一 主 査 中島 和俊	係 長 福井 理央

## [委員会意見]

### 調査事件 1 前浜の天然資源について

(令和元年 5 月 14 日調査)

前浜におけるキタムラサキウニ等の天然資源の状況を確認するとともに、従来から実施している放流事業や移殖事業の内容等を調査したので、調査結果を以下のとおり報告する。

なお、資料の確認等に先立ち、グラスボートに乗船し、浦和から岩部までの天然資源の状況を現地視察した。

#### 【論点とした調査項目及び意見】

##### 1 放流事業の継続と追跡調査の実施について

前浜の安定的漁獲量確保のため実施しているアワビやウニ、ナマコの種苗放流事業については、天然資源減少傾向の中、議会としても、継続実施していかなければならない事業であると位置付けしているが、漁業協同組合と協力し、放流事業に費やした事業費の効果と成果を明らかにするため、追跡調査や資源管理等を着実に実施し、データを整備する必要があると思慮する。

また、放流事業やキタムラサキウニの深浅移殖のほか、別に資源回復の方法があるのか等、水産普及指導所や漁業協同組合など関係機関と協力し、広く調査を進められたい。

##### 2 漁港内の未利用区域を利用した新たな養殖漁業の検討について

町の水産業の主力を担っている昆布養殖事業とは別に、過去に未利用資源として検討したムール貝（ムラサキイガイ）など、漁港等の未利用海域を利活用して、地場の天然資源を新たな養殖魚種とする方策を漁業関係者とともに調査・検討されたい。

##### 3 総括意見

漁獲量の現況は、前浜でのイカ・まぐろ等の不漁、大型機船漁業による管外水揚の大幅減が続き、養殖昆布・ウニ等が主体となっている。

温暖化等による漁業環境の変化は厳しく、前浜資源の保持に重要な役割を果たしている、アワビ・ウニ・ナマコ等の種苗放流・深浅移植事業の推進、未利用資源の活用に期待するところが大きいことから、今後とも前浜資源の状況を注視する必要があると思慮するので、町においては、適宜その状況等について報告願いたい。

## [委員会意見]

### 調査事件 2 岩部クルーズ事業計画について

(令和元年 5 月 14 日調査)

6 月から本格運行する岩部クルーズ事業について、実際に使用するクルーズ船に乗船し、運行内容と運行にあたっての安全確認、また、受付や欠航時の連絡体制、安全対策等を調査したので、調査結果を以下のとおり報告する。

#### 【論点とした調査項目及び意見】

##### 1 事業主体としての町の責任と関与について

事業主体が町であることから、受託事業者である一般社団法人福島町まちづくり工房が進める事業の推進に対し、「岩部クルーズ運航マニュアル」を基本とした対応も含めた顧客サービスの徹底、乗船者の人命優先、不測事態時の危機管理対策、関係機関との連絡調整の強化充実、繁忙期における人的協力体制の配慮等を強く望む。

##### 2 当日のクルーズ中止に対応する対策について

運行当日・直前のクルーズ中止の対応については、予約段階から利用客に説明することであるが、来町した予約者がクルーズの代替えとして、例えば浦和漁港内でウニやアワビ等を採取しながら食べることができるような、福島町ならではの食の楽しみを予約者にも味わってもらえるサービスを早急に検討し、クルーズ中止の対策とされたい。

##### 3 今年度の事業結果の検証について

クルーズは、天候に左右される事業であり、人命の安全確保が最優先されることなど、町・受託事業者においては、今年度の事業終了後、事業結果を確実に検証し、改善すべき点、促進すべき点等を明確にし、次年度の当該事業の充実発展につながる手立てを講じることを強く望む。

##### 4 総括意見

事前の試験運航において、指摘されていた、関係機関との協働連携、横綱・トンネル両記念館との連動・PR、事業遂行の試算については、明確な方向性・対策が示されず、地方創生推進交付金事業終了後へ向けた事業経営に懸念すべき点が多いことを十分認識し、事業の推進に当たることを強く望む。

クルーズ事業は、町にとって新たな観光の目玉であり、町が持つ地域資源、財産の最高の活用策であると認識し、永続的に、良好な形で事業を推進できるよう議会としても関わっていく必要があると思慮することから、町においては事業の検証等、適宜その状況等について報告願いたい。

